

研 修 の 概 要

項 目	内 容
学校名	北海道小樽高等支援学校
所在地	〒047-0261 小樽市銭函1丁目10番1号
電話番号・FAX	(0134) 61-3400 (0134) 61-3430
URL	http://www.otarukoushi.hokkaido-c.ed.jp/
代表者	北海道小樽高等支援学校長 濱 裕 晃
研修課程編成責任者	福祉サービス科学科長 梅 野 美 里

※お問い合わせ等は上記まで御連絡ください。

学 則

1 研修の目的

介護職員初任者研修を通して実践的で専門的な学習を行い、職業自立や社会自立に必要な能力を高めることを目的とする。

2 研修の名称

北海道介護職員初任者研修

3 研修の要旨

事業所の所在地	研修形態	修業年限	研修期間	定員(人)	受講料(円)	受講対象者
小樽市	昼間	1年6ヶ月	1年6ヶ月	16	なし	本校福祉サービス科の生徒

4 受講手続

(1) 募集時期

原則、本校福祉サービス科に在籍する生徒が受講するため募集は行わない。

(2) 受講料納入方法

徴収しない。

(3) 受講料返還方法

該当なし。

5 カリキュラム

6 科目名	研修時間
1. 職務の理解	400分
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	600分
3. 介護の基本	500分
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	600分
5. 介護におけるコミュニケーション技術	400分
6. 老化の理解	400分
7. 認知症の理解	500分
8. 障害の理解	300分
9. こころとからだのしくみと生活支援技術	5000分
10. 振り返り	300分
合計	9000分 (150時間)

6 主要テキスト

介護職員初任者研修テキスト（(株)日本医療企画刊）をもとに、本校で作成したテキストを使用する。

7 修了認定

(1) 出欠の確認方法

出席簿を作成し、講義ごとに記帳・確認する。

(2) 成績の評定方法

修了時の筆記試験及び演習時の実技評価により成績評定を行う。

(3) 修了の認定方法

修了の認定は、原則として次の基準を全て満たした者に対して行う。

- (ア) 全ての研修科目（項目）を受講した者
- (イ) 修了評価において6割以上の正答が認められた者
- (ウ) 演習時の実技評価において介護技術の習得が確認された者

(4) 修了証明書

修了が認定された者には、北海道介護職員初任者研修実施要綱に規定する修了証明書及び修了証明書（携帯用）を交付する。

8 補講の取扱い

講義等に欠席した者及び修了評価、実技評価において基準の得点が得られなかった者に対して補講等を行う。なお、細則により実施時数等の上限を設ける。

9 退学

規定本校教育課程に則り授業内で実施するため、北海道特別支援学校学則(昭和 55 年北海道教育委員会規則第5号)の定めるところによる。

10 講師

別紙一覧表のとおり

11 実習施設

別紙一覧表のとおり

12 修了証明書の再発行

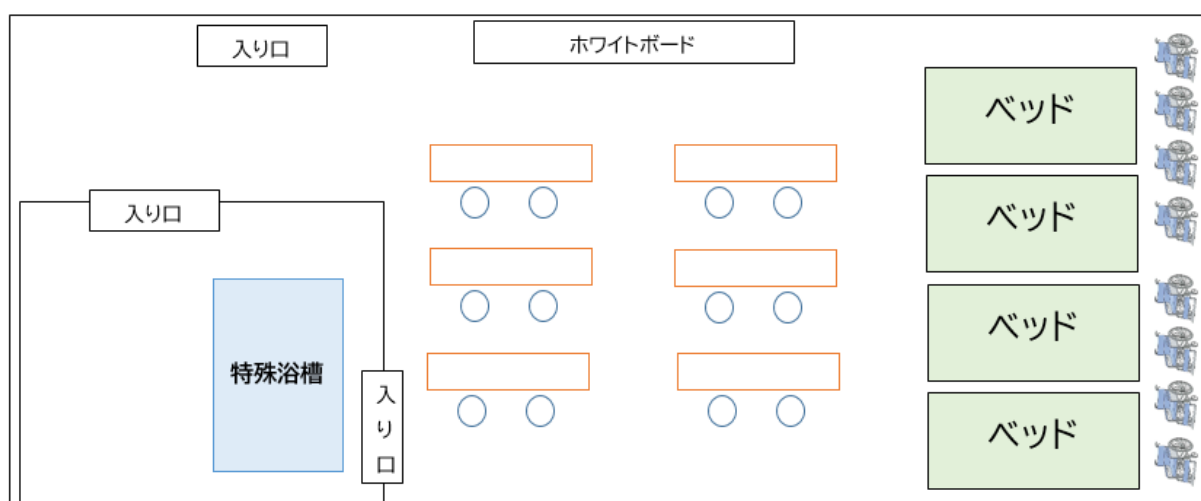
氏名の変更、あるいは汚損若しくは紛失により修了証明書の再発行を受けようとする場合は、所定の書面により本校校長あてに申請すること。

13 その他

なし

(平成 25 年 6 月 25 日決定)
(平成 26 年 1 月 27 日一部改訂)
(平成 28 年 12 月 1 日一部改訂)
(令和 2 年 4 月 1 日一部改訂)
(令和 2 年 9 月 1 日一部改訂)
(令和 3 年 4 月 1 日一部改訂)
(令和 6 年 4 月 1 日一部改訂)

研修施設・設備



研修のスケジュール（期間、日程、時間数）15 期生

日	付	講義・演習・実習の別	実施授業時間数	時間数(分)	項目番号	科目(項目)名	講師名		備考
2024 年 8 月 28 日	水	講義	3	150	1①	職務の理解 (多様なサービスの理解)	小谷 明日香		介護の仕事①
2024 年 8 月 29 日	木	講義	2	100	1①	職務の理解 (多様なサービスの理解)	小谷 明日香		介護の仕事②
2024 年 9 月 2 日	月	講義	3	150	1②	職務の理解 (介護職の仕事内容や働く現場の理解)	山森 清菜		介護の仕事③
2024 年 9 月 4 日	水	講義	3	150	9①	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 基本知識の学習 (介護の基本的な考え方)	福澤 千晴		介護の基本的な考え方
2024 年 9 月 5 日	木	演習	4	200	9③	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 基本知識の学習 (介護に関するこことからだのしくみの基礎的理解)	小笠原 純		からだのしくみ(ボディメカニクス)①
2024 年 9 月 9 日	月	講義	2	100	9②	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 基本知識の学習 (介護に関するこことからだのしくみの基礎的理解)	小谷 明日香		こことからだのしくみ-1
2024 年 9 月 11 日	水	講義	1	50	9②	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 基本知識の学習 (介護に関するこことからだのしくみの基礎的理解)	小谷 明日香		こことからだのしくみ-2
2024 年 9 月 12 日	木	演習	4	200	9③	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 基本知識の学習 (介護に関するこことからだのしくみの基礎的理解)	小笠原 純		からだのしくみ(ボディメカニクス)②
2024 年 9 月 18 日	水	演習	4	200	9⑦	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (移動・移乗に関連したこことからだのしくみと自立に向けた介護)	山森 清菜		移動・移乗の介護演習①
2024 年 9 月 19 日	木	演習	4	200	9⑦	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (移動・移乗に関連したこことからだのしくみと自立に向けた介護)	山森 清菜		移動・移乗の介護演習②
2024 年 10 月 7 日	月	演習	3	150	9⑦	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (移動・移乗に関連したこことからだのしくみと自立に向けた介護)	山森 清菜		移動・移乗の介護演習③-1
2024 年 10 月 9 日	水	演習	1	50	9⑦	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (移動・移乗に関連したこことからだのしくみと自立に向けた介護)	山森 清菜		移動・移乗の介護演習③-2
2024 年 10 月 9 日	水	演習	3	150	9⑦	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (移動・移乗に関連したこことからだのしくみと自立に向けた介護)	山森 清菜		移動・移乗の介護演習④-1
2024 年 10 月 10 日	木	演習	1	50	9⑦	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (移動・移乗に関連したこことからだのしくみと自立に向けた介護)	山森 清菜		移動・移乗の介護演習④-2
2024 年 11 月 21 日	木	講義	3	150	3①	介護の基本 (介護職の役割、専門性と他職種との連携)	小谷 明日香		介護職員の役割
2024 年 11 月 25 日	月	講義	2	100	3③	介護の基本 (介護における安全の確保とリスクマネジメント)	佐伯 章		介護現場での安全確保
2024 年 11 月 25 日	月	講義	1	50	3④	介護の基本 (介護職の安全)	佐伯 章		介護職員の安全-1
2024 年 11 月 27 日	水	講義	4	200	9⑤	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (快適な居住環境整備と介護)	小山 桃果		快適な居住環境整備
2024 年 11 月 28 日	木	講義	4	200	2①	介護における尊厳の保持・自立支援 (人権と尊厳を支える介護)	福澤 千晴		尊厳の保持
2024 年 12 月 5 日	木	講義	1	50	3④	介護の基本 (介護職の安全)	佐伯 章		介護職員の安全-2
2024 年 12 月 5 日	木	演習	2	100	9⑪	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (睡眠に関連したこことからだのしくみと自立に向けた介護)	小笠原 純		ベッドメイキング演習①-1
2024 年 12 月 11 日	水	演習	2	100	9⑪	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (睡眠に関連したこことからだのしくみと自立に向けた介護)	小笠原 純		ベッドメイキング演習①-2
2024 年 12 月 11 日	水	演習	2	100	9⑪	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (睡眠に関連したこことからだのしくみと自立に向けた介護)	小笠原 純		ベッドメイキング演習②-1
2024 年 12 月 12 日	木	講義	3	150	3②	介護の基本 (介護職の職業倫理)	岩川 拓巳		介護職の職業倫理
2024 年 12 月 16 日	月	演習	2	100	9⑪	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (睡眠に関連したこことからだのしくみと自立に向けた介護)	小笠原 純		ベッドメイキング演習②-2
2025 年 1 月 16 日	木	講義	4	200	2②	介護における尊厳の保持・自立支援 (自立に向けた介護)	小笠原 純		自立を支援する介護演習①
2025 年 1 月 20 日	月	講義	3	150	5①	介護におけるコミュニケーション技術 (介護におけるコミュニケーション)	山森 清菜		コミュニケーション技術①
2025 年 1 月 22 日	水	講義	4	200	2②	介護における尊厳の保持・自立支援 (自立に向けた介護)	小笠原 純		自立を支援する介護演習②
2025 年 1 月 23 日	木	演習	4	200	9⑥	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (整容に関連したこことからだのしくみと自立に向けた介護)	山森 清菜		着脱の介護演習①
2025 年 1 月 27 日	月	講義	2	100	4①	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (介護保険制度)	梅野 美里		介護保険制度①
2025 年 1 月 29 日	水	演習	4	200	9⑥	こことからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (整容に関連したこことからだのしくみと自立に向けた介護)	山森 清菜		着脱の介護演習②
2025 年 1 月 30 日	木	講義	3	150	4①	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (介護保険制度)	梅野 美里		介護保険制度②

2025 年 2 月 6 日 木	講義	2	100	5①	介護におけるコミュニケーション技術 (介護におけるコミュニケーション)	山森 清菜	コミュニケーション技術②
2025 年 2 月 10 日 月	講義	3	150	5②	介護におけるコミュニケーション技術 (介護におけるチームのコミュニケーション)	岩川 拓巳	チームのコミュニケーション
2025 年 2 月 12 日 水	講義	4	200	4②	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (医療との連携とリハビリテーション)	三澤 史華	医療との連携①②
2025 年 4 月 23 日 水	講義	4	200	9④	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ生活支援技術の講義・演習 (生活と家事)	佐々木 みゆき	生活と家事
2025 年 4 月 25 日 金	演習	4	200	9⑧	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ生活支援技術の講義・演習 (食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	梅野 美里	食事の介護演習①
2025 年 4 月 30 日 水	演習	4	200	9⑧	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ生活支援技術の講義・演習 (食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	梅野 美里	食事の介護演習②
2025 年 5 月 13 日 火	講義	3	150	6②	老化の理解 (高齢者と健康)	佐々木 美和	高齢者と健康
2025 年 5 月 14 日 水	講義	2	100	6①	老化の理解 (老化に伴うこころとからだの変化と日常)	山森 清菜	老化の理解①
2025 年 5 月 14 日 水	講義	2	100	6①	老化の理解 (老化に伴うこころとからだの変化と日常)	山森 清菜	老化の理解②－1
2025 年 5 月 16 日 金	講義	1	50	6①	老化の理解 (老化に伴うこころとからだの変化と日常)	山森 清菜	老化の理解②－2
2025 年 5 月 20 日 火	演習	2	100	9⑩	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ生活支援技術の講義・演習 (排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	小笠原 純	排泄介護演習①－1
2025 年 5 月 21 日 水	講義	3	150	7③	認知症の理解 (認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活)	三澤 史華	認知症高齢者の日常生活
2025 年 5 月 23 日 金	演習	2	100	9⑩	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ生活支援技術の講義・演習 (排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	小笠原 純	排泄介護演習①－2
2025 年 6 月 4 日 水	演習	2	100	9⑩	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ生活支援技術の講義・演習 (排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	小笠原 純	排泄介護演習②－1
2025 年 6 月 10 日 火	演習	2	100	9⑩	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ生活支援技術の講義・演習 (排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	小笠原 純	排泄介護演習②－2
2025 年 6 月 11 日 水	講義	2	100	7②	認知症の理解 (医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理)	佐々木 美和	認知症の基礎と健康管理
2025 年 7 月 8 日 火	講義	2	100	7④	認知症の理解 (家族への支援)	中野 美穂	認知症高齢者と家族
2025 年 7 月 11 日 金	講義	3	150	7①	認知症の理解 (認知症を取り巻く状況)	佐伯 章	認知症高齢者とのかかわり
2025 年 7 月 15 日 火	演習	4	200	9⑨	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ生活支援技術の講義・演習 (入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	佐伯 章	入浴介護演習①
2025 年 7 月 18 日 金	演習	4	200	9⑨	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ生活支援技術の講義・演習 (入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	佐伯 章	入浴介護演習②
2025 年 9 月 2 日 火	講義	2	100	8①	障害の理解 (障害の基礎的理解)	佐々木 美和	障害とは
2025 年 9 月 2 日 火	講義	2	100	8②	障害の理解 (障害の医学的側面、生活障害、心身・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識)	佐々木 美和	障害の基礎知識
2025 年 9 月 3 日 水	講義	3	150	4③	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (障害福祉制度およびその他制度)	長井 志	障害者福祉サービスの理解
2025 年 9 月 5 日 金	講義	2	100	8③	障害の理解 (家族の心理、かかわり支援の理解)	長井 志	家族の心理
2025 年 9 月 9 日 火	講義	4	200	9⑫	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ生活支援技術の講義・演習 (死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護)	小谷 明日香	終末期の介護
2025 年 10 月 17 日 金	講義	3	150	9⑬	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の演習 (介護課程の基礎的理解(ケアプラン))	小笠原 純	総合演習①
2025 年 10 月 21 日 火	講義	3	150	9⑬	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の演習 (介護課程の基礎的理解(ケアプラン))	小笠原 純	総合演習②
2025 年 10 月 22 日 水	演習	2	100	9⑭	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の演習 (総合生活支援技術演習)	小笠原 純	総合演習③
2025 年 10 月 24 日 金	演習	2	100	9⑭	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の演習 (総合生活支援技術演習)	小笠原 純	総合演習④
2025 年 11 月 12 日 水	演習	3	150	9⑭	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の演習 (総合生活支援技術演習)	小笠原 純	総合演習⑤
2025 年 11 月 14 日 金	演習	3	150	9⑭	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の演習 (総合生活支援技術演習)	小笠原 純	総合演習⑥
2025 年 11 月 18 日 火	演習	2	100	9⑭	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の演習 (総合生活支援技術演習)	小笠原 純	総合演習⑦
2026 年 1 月 16 日 金	演習	2	100	10①	振り返り (振り返り)	梅野 美里	振り返り①
2026 年 1 月 20 日 火	演習	2	100	10①	振り返り (振り返り)	梅野 美里	振り返り②
2026 年 1 月 21 日 水	講義	2	100	10②	振り返り (就業への備えと研修終了後における継続的な研修)	梅野 美里	振り返り③
2026 年 1 月 23 日 金		4	200				修了評価試験

研修スケジュール（期間、日程、時間数）16 期生

日	付	講義・演習・実習の別	実施授 業時数	時間数 (分)	項目番号	科目(項目)名	講師名	備考
2025 年 9 月 1 日	月	講義	3	150	1①	職務の理解 (多様なサービスの理解)	佐伯 章	介護の仕事①
2025 年 9 月 3 日	水	講義	2	100	1①	職務の理解 (多様なサービスの理解)	佐伯 章	介護の仕事②
2025 年 9 月 4 日	木	講義	3	150	1②	職務の理解 (介護職の仕事内容や働く現場の理解)	佐伯 章	介護の仕事③
2025 年 9 月 8 日	月	講義	3	150	9①	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 基本知識の学習 (介護の基本的な考え方)	長井 志	介護の基本的な考え方
2025 年 9 月 10 日	水	演習	3	150	9③	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 基本知識の学習 (介護に関するからだのしくみの基礎的理解)	長井 志	こころのしくみ
2025 年 9 月 17 日	水	講義	4	200	9②	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 基本知識の学習 (介護に関するこころのしくみの基礎的理解)	福澤 千晴	からだのしくみ(ボディメカニクス)①
2025 年 9 月 18 日	木	講義	4	200	9②	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 基本知識の学習 (介護に関するこころのしくみの基礎的理解)	福澤 千晴	からだのしくみ(ボディメカニクス)②
2025 年 10 月 8 日	水	演習	4	200	9⑦	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	佐伯 章	移動・移乗の介護演習①
2025 年 10 月 15 日	水	演習	4	200	9⑦	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	佐伯 章	移動・移乗の介護演習②
2025 年 10 月 16 日	木	演習	3	150	9⑦	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	佐伯 章	移動・移乗の介護演習③ー1
2025 年 10 月 16 日	木	演習	1	50	9⑦	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	佐伯 章	移動・移乗の介護演習③ー2
2025 年 10 月 20 日	月	演習	3	150	9⑦	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	佐伯 章	移動・移乗の介護演習④ー1
2025 年 10 月 22 日	水	演習	1	50	9⑦	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	佐伯 章	移動・移乗の介護演習④ー2
2025 年 11 月 20 日	木	講義	3	150	3①	介護の基本 (介護職の役割、専門性や他職種との連携)	小谷 明日香	介護職員の役割
2025 年 11 月 25 日	火	講義	3	150	3③	介護の基本 (介護における安全の確保とリスクマネジメント)	長井 志	介護現場での安全確保
2025 年 11 月 26 日	水	講義	2	100	3④	介護の基本 (介護職の安全)	國重 真央	介護職員の安全ー1
2025 年 11 月 27 日	木	講義	4	200	9⑤	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (快適な居住環境整備と介護)	國重 真央	快適な居住環境整備
2025 年 12 月 1 日	月	演習	3	150	9⑪	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	福澤 千晴	ベッドメイキング演習①
2025 年 12 月 3 日	水	講義	3	150	3②	介護の基本 (介護職の職業倫理)	小笠原 純	介護職の職業倫理
2025 年 12 月 4 日	木	講義	4	200	2①	介護における尊厳の保持・自立支援 (人権と尊厳を支える介護)	福澤 千晴	尊厳の保持
2025 年 12 月 8 日	月	演習	3	150	9⑪	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	福澤 千晴	ベッドメイキング演習②
2025 年 12 月 10 日	水	講義	1	50	3④	介護の基本 (介護職の安全)	國重 真央	介護職員の安全ー2
2025 年 12 月 11 日	木	講義	4	200	2②	介護における尊厳の保持・自立支援 (自立に向けた介護)	岩川 拓巳	自立を支援する介護演習①
2025 年 12 月 15 日	月	講義	3	150	5①	介護におけるコミュニケーション技術 (介護におけるコミュニケーション)	岩川 拓巳	コミュニケーション技術①
2025 年 12 月 17 日	水	講義	4	200	2②	介護における尊厳の保持・自立支援 (自立に向けた介護)	岩川 拓巳	自立を支援する介護演習②
2026 年 1 月 15 日	木	演習	4	200	9⑥	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	岩川 拓巳	着脱の介護演習①
2026 年 1 月 19 日	月	講義	2	100	4①	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (介護保険制度)	梅野 美里	介護保険制度①
2026 年 1 月 21 日	水	演習	4	200	9⑥	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	岩川 拓巳	着脱の介護演習②
2026 年 1 月 22 日	木	講義	3	150	4①	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (介護保険制度)	梅野 美里	介護保険制度②
2026 年 1 月 26 日	月	講義	2	100	5①	介護におけるコミュニケーション技術 (介護におけるコミュニケーション)	岩川 拓巳	コミュニケーション技術②
2026 年 1 月 28 日	水	講義	3	150	5②	介護におけるコミュニケーション技術 (介護におけるチームのコミュニケーション)	山森 清菜	チームのコミュニケーション
2026 年 1 月 29 日	木	講義	4	200	4②	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (医療との連携とリハビリテーション)	三澤 史華	医療との連携①②
2026 年 2 月 4 日	水	演習	3	150	9⑧	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	梅野 美里	食事の介護演習①
2026 年 2 月 5 日	木	演習	1	50	9⑧	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	梅野 美里	食事の介護演習②ー1
2026 年 2 月 9 日	月	演習	4	200	9⑧	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	梅野 美里	食事の介護演習②ー2
2026 年 2 月 12 日	木	講義	4	200	9④	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (生活と家事)	佐伯 章	生活と家事
2026 年 2 月 16 日	月	講義	3	150	6①	老化の理解 (老化に伴うこころとからだの変化と日常)	福澤 千晴	老化の理解①
2026 年 2 月 18 日	水	講義	2	100	6①	老化の理解 (老化に伴うこころとからだの変化と日常)	福澤 千晴	老化の理解①

2026 年 2 月 19 日 木	演習	4	200	9⑩	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ生活支援技術の講義・演習 (排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	福澤 千晴	排泄介護演習①
2026 年 5 月 8 日 金	講義	3	150	6②	老化の理解 (高齢者と健康)	佐々木 美和	高齢者と健康
2026 年 5 月 12 日 火	演習	4	200	9⑩	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ生活支援技術の講義・演習 (排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	福澤 千晴	排泄介護演習②
2026 年 5 月 13 日 水	講義	3	150	7①	認知症の理解 (認知症を取り巻く状況)	佐伯 章	認知症高齢者とのかかわり
2026 年 5 月 15 日 金	講義	2	100	7②	認知症の理解 (医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理)	佐々木 美和	認知症の基礎と健康管理
2026 年 5 月 20 日 水	講義	3	150	7③	認知症の理解 (認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活)	岩川 拓巳	認知症高齢者の日常生活
2026 年 7 月 14 日 火	演習	4	200	9⑨	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ生活支援技術の講義・演習 (入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	佐伯 章	入浴介護演習①
2026 年 7 月 15 日 水	演習	4	200	9⑨	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ生活支援技術の講義・演習 (入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護)	佐伯 章	入浴介護演習②
2026 年 9 月 2 日 水	講義	2	100	7④	認知症の理解 (家族への支援)	中野 美穂	認知症高齢者と家族
2026 年 9 月 4 日 金	講義	2	100	8①	障害の理解 (障害の基礎的理解)	佐々木 美和	障害とは
2026 年 10 月 23 日 金	講義	2	100	8②	障害の理解 (障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識)	佐々木 美和	障害の基礎知識
2026 年 10 月 27 日 火	講義	3	150	4③	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (障害福祉制度およびその他制度)	梅野 美里	障害者福祉サービスの理解
2026 年 10 月 30 日 金	講義	2	100	8③	障害の理解 (家族の心理、かかわり支援の理解)	梅野 美里	家族の心理
2026 年 11 月 4 日 水	講義	4	200	9⑫	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の講義・演習 (死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護)	國重 真央	終末期の介護
2026 年 11 月 6 日 金	講義	3	150	9⑬	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の演習 (介護課程の基礎的理解(ケアプラン))	岩川 拓巳	総合演習①
2026 年 11 月 10 日 火	講義	3	150	9⑬	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の演習 (介護課程の基礎的理解(ケアプラン))	岩川 拓巳	総合演習②
2026 年 11 月 11 日 水	演習	2	100	9⑭	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の演習 (総合生活支援技術演習)	佐伯 章	総合演習③
2026 年 11 月 13 日 金	演習	2	100	9⑭	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の演習 (総合生活支援技術演習)	佐伯 章	総合演習④
2026 年 11 月 17 日 火	演習	3	150	9⑭	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の演習 (総合生活支援技術演習)	佐伯 章	総合演習⑤
2026 年 11 月 18 日 水	演習	3	150	9⑭	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の演習 (総合生活支援技術演習)	佐伯 章	総合演習⑥
2026 年 11 月 20 日 金	演習	2	100	9⑭	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ生活支援技術の演習 (総合生活支援技術演習)	佐伯 章	総合演習⑦
2027 年 1 月 19 日 火	演習	2	100	10①	振り返り (振り返り)	佐伯 章	振り返り①
2027 年 1 月 20 日 水	演習	2	100	10①	振り返り (振り返り)	佐伯 章	振り返り②
2027 年 1 月 22 日 金	講義	2	100	10②	振り返り (就業への備えと研修終了後における継続的な研修)	長井 志	振り返り③
2027 年 1 月 27 日 水		4	200				修了評価試験

科目別シラバス・時間数・特徴

1. 職務の理解（6時間）

全体のオリエンテーション	○研修の進め方（日誌、テスト、補講など）や注意点について再確認する。 ○単元計画やおおまかな学習内容について知り、見通しを持つ。		
ねらい	①介護士の仕事や役割について知る。 ②介護を行う時の大切な考え方や心がまえを知る。		
介護の仕事①	1①	多様なサービスの理解	○代表的な介護サービスの種類（代表的な三種類、介護予防、施設サービス、居宅サービス）
介護の仕事②			○代表的な介護サービスの種類（地域密着） ○サービスの種類と仕事内容（チームケアについて、ケアプラン）
介護の仕事③	1②	介護職の仕事内容や働く現場の理解	○介護士の1日（仕事内容、大切にしていること等）※VTR 演習 ○介護士の役割（他職種との連携）
			250分
			150分

2. 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）

ねらい	・介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動を理解する。			
尊厳の保持	2①	人権と尊厳を支える介護	○「尊厳の保持」や「自立支援」の理念と、介護職員の心がまえを理解する。 ○ 高齢者の「尊厳の保持」とは（高齢者の虐待、身体拘束、プライバシーを傷つける行為、尊厳のある暮らし） ○ 介護職員の心がまえ、やってはいけないこと ○ QOLの向上（事例を見る、グループワーク等） ○利用者の尊厳を著しく傷つける言動とその理由について考えさせ、尊厳という概念を知る。 ○個人の権利を守る制度（個人情報保護法・成年後見制度）	200分
自立を支援する介護演習①	2②	自立に向けた介護	○高齢者の「自立支援」とは（残存能力の活用、廃用症候群の予防、動機と欲求、意欲を高める支援、個別ケア）	400分
自立を支援する介護演習②			○介護予防の考え方（重度化予防） ○被介護者体験を通して自立支援について理解を深める ○利用者及びその家族の要望にそのまま応えることと、自立支援・介護予防という考え方に基づいたケアを行うことの違い、自立という概念に対する気づきを促す。	
評価のポイント	・介護の目標や展開について、尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れて概説できる。 ・虐待の定義、身体拘束、およびサービス利用者の尊厳、プライバシーを傷つける介護についての基本的なポイントを列挙できる。			

3. 介護の基本（6時間）

ねらい	・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性について学ぶ。 ・職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。 ・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。			
介護職員の役割	3①	介護職の役割、専門性と他職種との連携	○訪問介護と施設介護サービスの違い ○地域包括ケアの方向性 ○介護職員の役割と専門性 ○介護現場における他職種との連携 ○チームケアの重要性	150分
介護職の職業倫理	3②	介護職の職業倫理	○専門職の倫理の意義 ○介護職が持つべき職業倫理（日本介護福祉士会倫理綱領を参考に） ○プライバシーの保護・尊重 ○虐待防止・身体拘束禁止	150分
介護現場での安全確保	3③	介護における安全の確保とリスクマネジメント	○介護現場で起こりやすい事故等の理解、対応の基本 ○事故予防、安全対策 ○事故に至った経緯の報告（家族への報告、市町村への報告等） ○情報の共有 ○感染の原因と経路（感染源の排除、感染経路の遮断） ○「感染」に対する正しい知識	100分
介護職員の安全	3④	介護職の安全	○介護士の健康管理が介護の質に影響 ○ストレスへの対処 ○感染症対策 ○腰痛の予防に関する知識 ○手洗い・うがいの励行、手洗いの基本	100分
評価のポイント	・介護の目指す基本的なものは何かを概説でき、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について列举できる。 ・介護職として共通の基本的な役割とサービスごとの特性、医療・看護との連携の必要性について列举できる。 ・介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点について、ポイントを列举できる。 ・生活支援の場で出会う典型的な事故や感染、介護における主要なリスクを列举できる。 ・介護職におこりやすい健康被害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方、留意点等を列举できる。			

4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）

ねらい	・介護保険制度や障害福祉制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について学ぶ。 ・医療と介護の連携の重要性について知る。			
介護保険制度①	4①	介護保険制度	○介護保険のしくみ（財源、利用の流れ、要介護認定） ○ケアマネジメントについて ○地域包括支援センターの設置 ○地域包括ケアシステムの推進	250分
介護保険制度②	4①	介護保険制度	○様々なサービス、介護予防について ○保険制度としての基本的仕組み ○介護給付と種類 ○予防給付 ○要介護認定の手順 ○制度を支える財源、組織・団体の機能と役割	
医療との連携①②	4②	医療との連携とリハビリテーション	○介護現場における医行為や連携について ○介護職員が行ってもよい行為、してはいけない行為 ○リハビリテーションの考え方と介護職員の役割 ○訪問看護 ○施設における看護と介護の役割・連携	200分
障害者福祉サービスの理解	4③	障害福祉制度およびその他制度	○障害者総合支援制度の理念、主なサービス、高齢障害者の支援 ○ICF ○ノーマライゼーション ○障害福祉制度の仕組みの基礎的理解 ○介護給付・訓練等給付の申請から支給決定まで ○個人情報保護法、○成年後見制度、○日常生活自立支援事業	150分
評価のポイント	・生活全体の支援のなかで介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について列挙できる。 ・介護保険制度や障害福祉制度の理念、介護保険制度の財源構成と保険料負担の大枠について列挙できる。 ・ケアマネジメントの意義について概説でき、代表的なサービスの種類と内容、利用の流れについて列挙できる。 ・高齢障害者の生活を支えるための基本的な考え方を理解し、代表的な障害者福祉サービス、権利擁護や成年後見の制度の目的、内容について列挙できる。 ・医行為の考え方、一定の要件のもとに介護福祉士制度等が行う医行為などについて列挙できる。 ・障害者総合支援制度の理念について列挙できる。			

5. 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）

ねらい	・高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動を理解する。			
コミュニケーション技術①	5①	介護におけるコミュニケーション	○高齢者の心身の特徴とコミュニケーションを図る際の注意点	250分
コミュニケーション技術②	5①	介護におけるコミュニケーション	○受容、共感、傾聴をあらわすコミュニケーション技法 ○言語的コミュニケーションの特徴、○非言語コミュニケーションの特徴 ○様々な利用者に応じたコミュニケーション（視覚、聴覚障害、失語症、構音障害、認知症） ○利用者、家族とのコミュニケーションの実際 ○家族へのいたわりと励まし ○信頼関係の形成、 ○ニーズとデマンドの違い	
チームのコミュニケーション			○職員間のコミュニケーションについて ○記録の大切さを理解する ○ヒヤリハット報告書 ○5W1H ○報告（報告、連絡、相談の留意点） ○会議（ケアカンファレンス）での情報共有の大切さ ○役割の認識の場（利用者と頻回に接触する介護者に求められる観察眼）	150分
評価ポイント	・共感、受容、傾聴的態度、気づきなど、基本的なコミュニケーション上のポイントについて列挙できる。 ・家族が抱きやすい心理や葛藤の存在と介護における相談援助技術の重要性を理解し、介護職としてもつべき視点を列挙できる。 ・言語、視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション上の留意点を列挙できる。 ・記録の機能と重要性に気づき、主要なポイントを列挙できる。			

6. 老化の理解（6時間）

ねらい	・加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。		
老化の理解①	6①	老化に伴うこころとからだの変化と日常	○加齢にともなう心身の変化と生活上の注意点 ○バイタルサインについて ○日々の健康観察のポイント
老化の理解②			○身体的機能の変化と日常生活への影響 ○咀嚼機能の低下 ○筋・骨・関節の変化 ○体温維持機能の変化 ○精神的機能の変化と日常生活への影響
高齢者と健康	6②	高齢者と健康	○高齢者に多い疾病、生活上の注意点 ○緊急時の対応
評価のポイント	・加齢、老化にともなう生理的な変化や心身の変化、特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力面等の変化に着目した心理的特徴について挙げる。 ・高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴及び治療・生活上の留意点、及び高齢者の疾病による症状や訴えについて挙げる。		

7. 認知症の理解（6時間）

ねらい	・介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。		
認知症高齢者とのかわり	7①	認知症を取り巻く状況	○パーソンセンタードケアについて ○認知症高齢者とのかわりの注意点 ○事例検討 150分
認知症の基礎と健康管理	7②	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	○認知症の種類と症状の特徴、健康管理 ○認知症の定義 ○もの忘れとの違い ○せん妄の症状 ○健康管理（脱水・便秘・低栄養・低運動の防止、口腔ケア）、 ○治療 ○薬物療法 ○認知症に使用される薬 100分
認知症高齢者の日常生活	7③	認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	○認知症の定義、物忘れとの違い ○中核症状とBPSD ○不適切なケア、 ○生活環境で改善 ○本人の気持ちを推察する ○プライドを傷つけない ○相手の世界に合わせる ○失敗しないような状況をつくる ○すべての援助行為がコミュニケーションであると考えること ○身体を通したコミュニケーション ○相手の様子・表情・視線・姿勢などから気持ちを洞察する ○認知症の進行に合わせたケア 150分
認知症高齢者と家族	7④	家族への支援	○家族の気持ち、ストレスについて ○介護負担の軽減レスパイトケア 100分
評価のポイント	・認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考え方について概説できる。 ・健康な高齢者の「物忘れ」と、認知症による記憶障害の違いについて列挙できる。 ・認知症の中核症状と行動・心理症状（BPSD）等の基本的特性、およびそれに影響する要因を列挙できる。 ・認知症の心理・行動のポイント、認知症の利用者への対応、コミュニケーションのとり方、および介護の原則について列挙できる。また、同様に、若年性認知症の特徴についても列挙できる。 ・認知症の利用者の健康管理の重要性と留意点、廃用症候群予防について概説できる。 ・認知症の利用者の生活環境の意義やそのあり方について、主要なキーワードを列挙できる。 ・認知症の利用者とのコミュニケーション（言語、非言語）の原則、ポイントについて理解でき、具体的な関わり方（良い関わり方、悪い関わり方）を概説できる。 ・家族の気持ちや、家族を受けやすいストレスについて列挙できる。		

8. 障害の理解（3時間）

ねらい	・障害の概念とICF、障害福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解する。			
障害とは	8①	障害の基礎的理解	○障害の概念（ICFの考え方）、障害受容のプロセスと基本的な介護の考え方 ○ノーマライゼーション	100分
障害の基礎知識	8②	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	○各障害の内容、特徴、福祉サービスや社会全体での支援 ○身体障害 ・視覚障害 ・聴覚、平衡障害 ・音声・言語・咀嚼障害 ・肢体不自由・内部障害 ○知的障害 ○精神障害（高次脳機能障害・発達障害を含む） ・○統合失調症・気分（感情障害） ・依存症などの精神疾患 ・高次脳機能障害 ・広汎性発達障害 ・学習障害 ・注意欠陥多動性障害などの発達障害	100分
家族の心理	8③	家族の心理、かかわり支援の理解	○家族への支援 ○障害の理解・障害の受容支援 ○介護負担の軽減	100分
評価のポイント	・障害の概念とICFについて概説でき、各障害の内容・特徴及び障害に応じた社会支援の考え方について列挙できる。 ・障害の受容のプロセスと基本的な介護の考え方について列挙できる。			

9. こころとからだのしくみと生活支援技術（75時間）

ねらい	・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 ・人間の心や体のしくみを知り、安全な介護技術を身につける。 ・快適な居住環境を整備していく意味や利用者の睡眠を支える支援について知る。 ・基本理念に基づき、利用者様の気持ちやペースに合わせた言葉がけをしながら介護を行う。 ・利用者本人の力を活用し、移動・移乗の介護を行うための技術を身につける。 ・利用者本人の力を活用し、食事の介護を行うための技術を身につける。 ・利用者本人の力を活用し、入浴や清潔の介護を行うための技術を身につける。 ・利用者本人の力を活用し、排泄の介護を行うための技術を身につける。 ・睡眠の介護を行うための技術を身につける。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。 ・介護過程について理解し、1人ひとりに合わせたケアを自分なりに考え、実践できる。 ・生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を持つことができる。			
介護の基本的な考え方	9①	介護の基本的な考え方	○理論に基づく介護、プロとしての介護 ○介護の基本理念や原則	150分
こころのしくみ	9②	介護に関するこころのしくみの基礎的理解	○記憶の構造（○意欲と感情、高齢者の心理 VTR視聴し役割と居場所の理解） ○こころの持ち方が行動に与える影響 ○からだの状態がこころに与える影響	150分
からだのしくみ （ボディメカニクス）①	9③	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	○人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、 ○骨・関節・筋に関する基礎知識 ○基本の体位と体位変換 ○ボディメカニクスの原則 ○こころとからだを一体的に捉える ○利用者の様子の普段との違いに気づく視点 ○行動が起きるまでのしくみ	400分
からだのしくみ （ボディメカニクス）②			○体位変換の手順とポイントの確認 ○体位変換「仰臥位～車いすへ」自立の援助 ○移乗「仰臥位～端座位」 ○移乗「端座位～車いす」 ○体位変換の手順とポイントの確認 ○体位変換「仰臥位～車いすへ」自立の援助	
生活と家事	9④	生活と家事	○家事と生活の理解 ○家事援助に関する基礎的理解と生活支援 ○生活歴 ○自立支援（主体性・能動性を引き出す） ○多様な生活習慣 ○価値観	200分
快適な居住環境整備	9⑤	快適な居住環境整備と介護	○生活援助を行う際の注意点、生活援助の基本原則 ○居住環境整備のポイント ○福祉用具に関する留意点と支援方法	200分

着脱の介護演習 ①	9⑥	整容に関連したこ ころとからだのし くみと自立に向け た介護	○身体状況に合わせた衣服の選択、着脱 ○身じたく ○整容行動 ○洗面の意義・効果	400分
着脱の介護演習 ②			○自立を支援するための介護方法や言葉がけ ○着脱介護演習「ポイントとなる部分の練習」	
移動・移乗の介護 演習①	9⑦	移動・移乗に関連 したところとから だのしくみと自立 に向けた介護	○移動の意義と要介護度別の介護方法、車いす の各部名称 ○歩行器・杖歩行の介助 ○車いすによる移動介護手順の確認、被介護者 体験からポイントを整理 ○安全点検～発進までの手順確認 ○車いす移動介護演習「平坦な道」	800分
移動・移乗の介護 演習②			○車いす移動介護演習「坂道」 ○車いす移動介護演習「せまい道」	
移動・移乗の介護 演習③			○移乗「仰臥位～端座位」 ○車いす移動介護演習「通し練習」 狭い道が終わっていれば、屋外で車いす移送 体験（段差を含む）	
移動・移乗の介護 演習④			○移乗「端座位～車いす」 ○車いす移動介護演習「通し練習」	
食事の介護演習 ①	9⑧	食事に関連したこ ころとからだのし くみと自立に向け た介護	○食事をする意味、 ○食事のケアに対する介護者の意識 ○低栄養の弊害 ○脱水の弊害 ○食事の意義と要介護度別の介護方法 ○嚥下のしくみ、様々な食形態 ○食事に関した福祉用具の活用と介助方法 ○被介護者体験（食べさせられる体験／とろみ 体験等）	400分
食事の介護演習 ②			○食事と姿勢 ○咀嚼・嚥下のメカニズム ○空腹感、満腹感、好みの理解 ○食事の環境整備（時間・場所等） ○口腔ケアの定義 ○誤嚥性肺炎の予防 ○個に応じた食形態や食事量の準備、記録、報 告の意味	
入浴介護演習①	9⑨	入浴、清潔保持に 関連したところと からだのしくみと 自立に向けた介護	○入浴や清潔の意味、要介護度別の介護方法、 ○さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法 ○入浴介護の注意点 ○羞恥心や遠慮への配慮 ○体調の確認 ○楽しい入浴を阻害するところとからだの要因 の理解と支援方法	400分

入浴介護演習②			☐ 入浴介護演習 ☐ 特殊浴槽体験 ☐ 全身清拭の方法、部分清拭 ☐ 目・鼻腔・耳・爪の清潔方法 ☐ 足浴・手浴・洗髪の方法	
排泄介護演習①	9⑩	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	☐ 排泄の意味と環境整備、要介護度別の介護方法 ☐ 排泄とは、 ☐ 身体面（生理面）での意味 ☐ プライド・羞恥心、プライバシーの確保 ☐ おむつは最後の手段／おむつ使用の弊害 ☐ 排泄障害が日常生活上に及ぼす影響 ☐ 排泄ケアを受けることで生じる心理的な負担・尊厳や生きる意欲との関連 ☐ 一部介助を要する利用者のトイレ介助の具体的方法 ☐ 便秘の予防（水分の摂取量保持、食事内容の工夫、腹部マッサージ）	400分
排泄介護演習②			☐ 排泄介護演習 ☐ ポータブルトイレの介助 ☐ おむつの介助 ☐ 陰部清浄（臥床状態での方法）、	
ベッドメイキング演習①	9⑪	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	☐ 睡眠の役割 ☐ 睡眠環境の整備について ☐ 褥瘡予防、体位交換（ベッドメイキングの目的と注意点）	400分
ベッドメイキング演習②			☐ ベッドメイキング演習	
終末期の介護	9⑫	死にゆく人に関連した心とからだのしくみと終末期介護	☐ 終末期ケアとは ☐ 高齢者の死に至る過程（高齢者の自然死（老衰）、癌死） ☐ 臨終が近づいたときの兆候と介護 ☐ 介護従事者の基本的態度 ☐ 多職種間の情報共有の必要性	200分
総合演習①	9⑬	介護課程の基礎的理解（ケアプラン）	☐ 介護過程の目的・意義・展開 ☐ 介護過程とチームアプローチ ☐ 総合演習「アセスメント①」	300分
総合演習②	9⑬	介護課程の基礎的理解（ケアプラン）	☐ 総合演習「アセスメント②」	
総合演習③	9⑭	総合生活支援技術演習	☐ 総合演習「ケースA」具体的な介護場面でのポイント	600分
総合演習④			☐ 総合演習「ケースB」具体的な介護場面でのポイント	
総合演習⑤			☐ 総合演習「ケースA」 ☐ 総合演習「ケースB」	
総合演習⑥			☐ 総合演習「ケースB」	

評価のポイント	・主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活について列挙できる。 ・要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則（方法、留意点、その根拠等）について概説でき、生活の中の介護予防、および介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法を列挙できる。 ・利用者の身体の状態に合わせた介護、環境整備についてポイントを列挙できる。 ・人の記憶の構造や意欲等を支援と結びつけて概説できる。 ・人体の構造や機能が列挙でき、何故行動が起こるのかを概説できる。 ・家事援助の機能と基本原則について列挙できる。 ・装うことや整容の意義について概説でき、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行うことができる。 ・体位変換と移動・移乗の意味と関連する用具・機器やさまざまな車いす、杖などの基本的使用方法を概説でき、体位変換と移動・移乗に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 ・食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法が列挙でき、食事に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 ・入浴や清潔の意味と入浴を取り巻く環境整備や入浴に関連した用具を列挙でき、入浴に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 ・排泄の意味と排泄を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、排泄に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 ・睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 ・ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携（ボランティアを含む）について、列挙できる。 ・生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた支援を考えることができる。 ・提示された事例から、こころとからだの力が発揮できない要因の分析をし、適切な支援技術の検討することができる。 ・事例に応じた支援を指示に基づいて介助を行うことができる。
---------	---

10. 振り返り（4時間）

ねらい	・研修をふりかえり、知識、技術を確認する。 ・自己の成長や良さ、課題に気づき、就業後も向上しようとする姿勢の大切さを理解する。			
振り返り①	10①	振り返り	○单元ごとの大まかな内容とポイントの復習 ○研修を通して学んだこと ○今後継続して学ぶべきこと ○根拠に基づく介護についての要点	200分
振り返り②			○单元ごとの大まかな内容とポイントの復習 ○研修を通して学んだこと ○今後継続して学ぶべきこと ○根拠に基づく介護についての要点	
振り返り③	10②	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	○継続的に学ぶべきこと ○研修修了後における継続的な研修について ○具体的にイメージができるような事業所等における事例（OFF-JT、OJT）を紹介	100分
修了評価試験			修了評価試験	

講 師 一 覧

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
中野 美穂	1，職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2，介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3，介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4，介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5，介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6，老化の理解 ①老化に伴うところとからだの変化と日常 7，認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8，障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9，ところとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するところのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10，振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 (福祉)	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
小谷 明日香	1，職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2，介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3，介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4，介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5，介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6，老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 7，認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8，障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9，こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10，振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 (福祉)	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
佐々木 美和	6，老化の理解 ②高齢者と健康 7，認知症の理解 ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 8，障害の理解 ①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の 基礎的知識	高等学校 教諭一種 （看護）	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
福澤 千晴	1, 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2, 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3, 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4, 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5, 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6, 老化の理解 ①老化に伴うところとからだの変化と日常 7, 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8, 障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9, ところとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するところのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10, 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 (福祉)	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
小山 桃果	1, 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2, 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3, 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4, 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5, 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6, 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 7, 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8, 障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9, こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10, 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 （福祉）	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
山森 清菜	1，職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2，介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3，介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4，介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5，介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6，老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 7，認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8，障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9，こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10，振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 （福祉）	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
三上 尚子	1, 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2, 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3, 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4, 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5, 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6, 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 7, 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8, 障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9, こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10, 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 （福祉）	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
岩川 拓巳	1, 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2, 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3, 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4, 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5, 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6, 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 7, 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8, 障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9, こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10, 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 （福祉）	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
新山 さやか	1, 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2, 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3, 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4, 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5, 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6, 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 7, 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8, 障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9, こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10, 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 （福祉）	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
梅野 美里	1, 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2, 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3, 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4, 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5, 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6, 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 7, 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8, 障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9, こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10, 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 (福祉)	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
小笠原 純	1, 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2, 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3, 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4, 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5, 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6, 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 7, 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8, 障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9, こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10, 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 （福祉）	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
佐伯 章	1, 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2, 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3, 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4, 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5, 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6, 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 7, 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8, 障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9, こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10, 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 (福祉)	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
三澤 史華	1，職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2，介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3，介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4，介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5，介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6，老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 7，認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8，障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9，こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10，振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 (福祉)	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
佐々木 みゆき	④生活と家事	高等学校 教諭一種 （家庭）	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
長井 志	1，職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2，介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3，介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4，介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5，介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6，老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 7，認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8，障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9，こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10，振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 (福祉)	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
國重 真央	1, 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2, 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3, 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4, 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5, 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6, 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 7, 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8, 障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9, こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10, 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 (福祉)	兼任

氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別
枋木 虎翔	1, 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2, 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 3, 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 4, 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度 5, 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション 6, 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 7, 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 8, 障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解 9, こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 10, 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	高等学校 教諭一種 (福祉)	兼任

過去の実績 修了人数

平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
4 名	8 名	7 名	8 名	9 名

令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
8 名	5 名	5 名	6 名	5 名

令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
2 名				